



Rotary International District 2650 Nara Japan

奈良大宮ロータリークラブ

# Club Weekly Bulletin

■創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日 17:30  
 ■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話 0742-33-8583  
 ■例会場：奈良市高畑町 1096番地 奈良ホテル本館 電話 0742-26-3300(代)  
 ■会長：井上正行 ■副会長：北神徳明 幹事：増井義久



卓話 フリージャーナリスト 浅野 詠子 様

## 会長報告

- 5月15日、私と中村さんで太宰府ロータリークラブ創立35周年の記念例会に参加をさせていただきました。基本的には震災後一年という事で、地味にされるとの方針で、近隣ロータリークラブも招待せず、親クラブの福岡東南ロータリークラブの2名と当クラブの2名だけでした。記念事業と致しましては、4市1町の社会福祉協議会に各10万円を送られ、残った予算50万円は東日本大震災義援金として岩手・宮城に送った、ということです。懇親会では、会長、幹事、実行委員長様、また親クラブの福岡東南ロータリークラブの会長、幹事様と親しくお話させていただきました。尚、当クラブから2014-2015年にガバナーを輩出する旨、ご報告しておきました。大変喜んで頂きました。
- 5月19日(土) 奈良東ロータリークラブのホストで、鷗尾の会・新旧会長幹事会がホテル日航で行われ、私と増井幹事、次年度会長の楠原さん、幹事の橋本さんと4名で出席致しました。地区からは奈良第一グループの新旧ガバナー補佐の熊本さんと今西さんが出席され、今西ガバナー補佐からは方針が示され、特に会員数が3月末時点でマイナスになっているということと、地区としては何ともしもプラスとしたい、とのことで、皆さんに宜しく願います、とのことでした。また奈良県内では3月末現在で純増が7名で、会員数は704名になっております。当クラブは、3月までは増減0で、6月までの予定としては純増3名を予定しております。また、当クラブがガバナーを輩出することになった事に対し、熊本ガバナー補佐の提案で、他クラブより協力して頂く決議をしていただきました。
- 5月17日(木)に、三室病院に入院されております藤川さんのお見舞に、私と増井幹事と野崎親睦活動委員長の3名で行って来ました。お元気にしておられました。手術も無事成功し、皆様に宜しくお伝えください、とのことでした。
- 橿原ロータリークラブより、会長幹事の連名で、6月17日(日)に宇陀市文化会館にて開催される「奈良伝統文化 こども和みフェスティバル」のご案内を頂きました。各テーブルにチラシを配置させていただきましたので、行ける方がおられましたら、どうぞ足を運んで頂きたいと思っております。

発行日/2012年 5月29日  
2011-2012/42

# Vol.33

No. 1601

HP: <http://naraomiya-rc.jp>  
E-mail: [info@naraomiya-rc.jp](mailto:info@naraomiya-rc.jp)

2011~12年度 当クラブテーマ  
「クラブの未来のために  
リーダーを育成しよう」

R.I.D.2650 2011-2012



KYOTO SHIGA FUKUI NARA  
良き伝統を守り、新しいロータリーに挑戦しよう

国際ロータリー第2650地区  
ガバナー 今西 信裕



### 四つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

## 例会プログラム

第43回 5月29日  
通算1601回

1. 開会の点鐘 17時30分
2. ソング  
「奈良大宮  
ロータリークラブのうた」
3. お客様の紹介
4. 会務報告
5. 卓話  
人材活性プロデューサー  
大谷 由里子 様  
「きばらんかい「経営者」」
6. 閉会の点鐘 18時30分

### 例会状況報告

第42回 5月22日  
通算1600回

●会員数 70名  
●出席免除者数 23名  
●出席者数 52名  
●出席率 85.25%

第40回 5月8日  
通算1598回の修正

●会員数 70名  
●出席免除者数 23名  
●出席者数 63名  
(内補填者数 1名)  
●出席率 96.92%

## 新規米山奨学生・ダンガル, イシュワリさんのご紹介 (カウンセラー・高野会員)

米山奨学生のダンガル, イシュワリさんのご紹介をさせていただきます。

ネパールからお越しで、日本はもう6年目で、かなり日本語もお上手で、日本の事情もよくご存知です。現在帝塚山大学の経営情報大学の4回生で、お話をお伺いしていると非常に優秀な方で、3年間で単位は既に取得済みで、卒業は決まっておりますが、非常に勉強がお好きで、今年は更に学びたいということで、授業も非常に熱心に出ておられます。今年4回生ということで、就職活動もされておられますが、母国語のネパール語、日本語だけではなく、英語やヒンズー語にも堪能で、良い所に既に内定を頂いたと聞いております。

彼女は、宗教的に、ということではありませんが、ベジタリアンでして、例会の時はそれに対応したお食事をご用意させていただきます。私も本日もベジタリアンで、ご一緒にさせて頂こうと思っております。よろしくお願い致します。

### ダンガル, イシュワリさんからご挨拶

皆様、こんばんは。この度米山奨学生として奈良大宮ロータリーにお世話になることになりましたこと、本当にうれしく思っております。色々わからないもので、日本の文化にも触れてまだ6年目ですので、迷惑かけることもあると思いますが、いつも笑顔で励まして、よろしく願います。



## 委員会報告

### 2014-2015年度・地区幹事長予定者・有井会員

本日状差しに国際ロータリー第2650地区の2014-2015年度北河原ガバナー事務所、地区幹事業務分担表を入れさせて頂いております。その中で、有井邦夫の右側に「R Iに本事務所」を「R I日本事務所」に訂正させていただきます。先週入れる予定でしたが、手違いがあり、今日になったこととお詫び申し上げます。

それから、皆さん方の熱意が情報集会でよく分りました。前途は悠々とさせて頂けるなと思います。ただ、慌てないで欲しいと思います。副幹事長にそれぞれ班長ということになっておりますが、私自身を含めて、どのように進めて行けば良いのか分からない状態です。現在勉強をさせて頂くということで、暫くお時間を頂きたいと思っております。これは幹事長、副幹事長がR Iの担当幹事長、副幹事長のもとに出向いて、お教を頂きたいと思っておりますので、ご了解を頂きたいと思っております。

このように業務分担を決めて、地区幹事は何をするのかということですが、地区幹事会と地区委員会の二つがあります。今までは地区委員会に出向して頂いて、経験をして頂いている方が多いかと思っております。今回経験して頂くのは地区幹事会ですが、北河原さんがガバナーにご就任頂くので、このような榮譽を得られるとご理解頂きたいと思っております。本年度・今西ガバナー年度は京都南RC、次年度・河本ガバナー年度は大津RC、その次の坂本ガバナー年度は京都八幡RCですが、ここは4クラブの混成チームでスタートするそうです。この混成チームと河本ガバナー年度をしっかりと勉強させて頂いて、我々のガバナー年度にその成果を発揮して頂きたいと思っております。今年の10月まではあまり慌てないように言われております。それは何故かと言いますと、お金がかかるからです。お金をかけないようにするには10月からスタートするのがベターですよ、とこのようなアドバイスを頂いております。その間、私を含め、副幹事長がしっかりと勉強をさせて頂きたいと思っております。それから、業務分担の仕事は幹事長・副幹事長がしっかりと勉強し、その方法として、河本年度・坂本年度でオブザーバーとして出席して勉強させて頂きます。

色々問題となっております資金面につきましては、本年度・井上会長に200万円をガバナー年度に予算計上して欲しいと先日お願い申し上げ、6月の理事会でご承認をお願いしたいと申しております。そして、楠原年度で再度理事会で認めて頂いて、総会で皆様方に報告をして頂きたいと考えております。ただ、皆さん方に幾何かのお願いをしていかざるを得ないと思っております。準備期間を入れて三年間あり、その間の費用をどうするかについてご心配されているかと思っておりますが、過去の例を見ますと、地区大会が終わるまではマイナスになって行き、地区大会が終わるとプラスに転じる、ということです。あとはガバナーと地区幹事長で相談をして、銀行借入ということも考えて行かなければならないと思っております。また相談させて頂きたいと思っております。

私から申し上げますのは、慌てないで下さいということです。慌てなければという様なご意見も伺っておりますが、その分皆さんがやる気満々であると思うと、私自身も随分気が楽になったと思っております。それから、北河原ガバナーがアメリカ・カリフォルニア・サンディエゴへ行って頂くのは、2014年1月12日～18日までです。それからでないと北河原さんの方針が決まらないということであり、また国際大会がシドニーで6月1日から4日間あり、これにも出席して頂かなくてはならないということです。R I会長のテーマの決定がそれ以降になろうかと思っておりますので、お含み頂きたいと思っております。

地区の運営につきましては、『四つのテスト』の「真実かどうか」「みんなに公平か」「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるかどうか」、このことを私はしっかりと肝に銘じて、皆さん方共々頑張りたいと思っております。これを基本に人に優しく、己に厳しく接して行きたいと思っておりますので、皆様方の前で私はお誓いをして、期待をされているような状態で終わりたいと思っておりますので、皆様方のご協力を切にお願いいたします。



## 卓話 フリージャーナリスト 浅野 詠子 様 「世界遺産都市の路地裏に息づく地域資源」

私は奈良ですと記者活動をしており、テーマとしては地方自治が中心で、これまで出した本も、財政や情報公開制度という固い話が多いのですが、20年も奈良で取材をしていますと、自分だけしか知らないかもしれない路地裏の魅力とか、また記者は人と会うことが基本ですが、主なテーマ以外の雑談を通してちょっといい話を仕入れたり、そのような情報が次第に溜まってきまして、昨年の秋に、講談社から「奈良の平日」というタイトルで、隠れた奈良の魅力についての本を出すことができました。サブタイトルは「誰も知らない深い町」というものです。私たちは観光都市に住んでいて、おもてなしが大事だということを言われますが、奈良市役所では予算の中に観光費を10億円くらい毎年組んでおります。これが他の都市とは少し違うところです。私たちの税金が、その価値を高める行政となっているかという点で、観光費についても、私たち市民が、監視という言葉はちょっと厳しいかもしれませんが、より建設的な提案をしていきたいと思っております。そんな中で、仕事の合間に集めた奈良の魅力を紹介することができました。

いま「地旅」という言葉があります。「地ビール」なぞらえたもので、地元の人たちが自分たちの町を改めて観光するという、地元の人向けの観光というのがいま少しずつ注目されているようです。自分たちの地域をもう一度見つめ直して、意外な魅力を発見したり、いろんな所で我が町の町歩きマップが作成されております。地域資源に磨きをかけながら、いろんな魅力を発掘して、県外の人々に提案していく、ありきたりの観光ガイドというものではなく、自分たちの地域から発信していくという観光のあり方に、私は注目していきたいと思っています。先日、神奈川県の実家に取材を兼ねて帰る機会があり、新幹線の小田原駅で降りたのですが、そのときにある観光パンフレットに目が行きました。それは、木造駅舎のレトロな旅を探るスタンプラリーのものでした。大正の時代に造られた駅舎が見直されて観光資源になっているのですが、高度成長期には見向きもされなかった古臭いものが、何らかの形で生き残り、それが新しい旅の魅力として伝えられているというのは、まさに私自身のテーマの一つでもあるわけです。その観光マップを見て、奈良であればJRの桜井線、代表的なのは京終駅ですが、これならば奈良も負けないなと思いました。京終は昔は物流の拠点の役割を果たしていたという話も聞き、昔の写真を展示したり、地域の人が京終を何とかしようとする数年前から地域資源を発掘しているようです。

私は財政や情報公開というテーマのほかに、新しいテーマとしてこの地域資源に注目していることもあり、大学の授業で週に1回地方行政論というのを担当しており、2年生と3年生で20人くらいの教室なのですが、大学の構内にあって、意外に面白いもの、知られていないものを、自分たちの目線で発掘してもらおうということで、学生に列挙させました。学生は3分の1が奈良県出身で、3分の1が大阪、あとは京都や北陸なのですが、奈良市出身の学生が1人もおらず、奈良県でも郡山や桜井など市外の住民ですので、外部の目で大学の地域資源を発掘できるのではないかと期待があったのですが、やはり面白いものが出来てきました。一つは、春日野や奈良公園がすぐ近くなので、鹿が大学に入ってきます。それだけでなく、鹿が大学に入ってきますと、実験用の植物とかを食べてしまいますので、早朝に鹿の愛護会の人たちが来て、鹿を追いかけている光景があると聞きました。そんな努力がボランティアの人たちによって行われているというのは初耳でしたし、奈良でしかない光景かなと思いました。また、大学には100年近い建物もあります。教育大が来る前は陸軍の施設があったのですが、明治の38年代の赤レンガのもので、奈良で代表的な赤レンガといえば「きたまち」の奈良少年刑務所があり、それも100年の建物ですが、高畑の大学にも赤レンガの建物があります。また、1300年前の新薬師寺の遺構で、大仏殿に匹敵するような大型の建物の遺構があるとか、そんな話もあるわけです。小さい大学の構内に1300年前の遺構と近代の赤レンガの建物が同居しているというのは、神奈川出身の私としてはどう見ても面白いのですが、これは奈良では結構当たり前で、「ならまち」とか「きたまち」ではよく近代化遺産の近くに礎石があったりします。奈良女子大の増井さんという建築学の先生は、そのことを歴史的な重層性ということで語っておられ、本当にまさにそうだなと思います。

この赤レンガの建物は、戦争遺産という側面だけではなく、建築史の側面からも面白い建物なのですが、奈良では戦争遺産についてはあまり語られる機会がありません。たとえば大学の近くには志賀直哉が住んだ旧居がありますが、戦後間もない頃に米軍が接収しましたから、かなりいろんな箇所手が加えられています。少し前に大掛かりな改修をした際に、どのように米軍が改修したのかが判明したのですが、戦争関連の遺産で奈良市内の登録有形文化財を見ますと、そういう痕跡を見ることができると思います。志賀直哉の旧居に関しては、先ほど紹介しました本でかなりの行数を割きました。といいますのは、大阪教育大学の名誉教授の梁瀬健先生という方が、志賀直哉の旧居にまつわる誰も知らないような面白い話を発掘されました。近鉄奈良駅前に商工会議所の建物がありますが、明治時代にはあのあたりに森田一善堂という古美術屋さんがあったそうです。そこに昭和の初め頃に文豪の谷崎潤一郎と志賀直哉が連れ立って入ってきました。そこで平安期の素晴らしい木造の観音像が売られていました。明治の初めの廃仏毀釈によってどこかのお寺から流れてきたのではないかという説が有力なのですが、谷崎潤一郎がその観音像を欲しいということで、現在の貨幣価値で100万円くらいの現金で買いました。志賀直哉も欲しかったようですが谷崎に譲って、しばらくは谷崎邸にありましたが、その後どういふわけか2人の交渉が成立して志賀直哉邸にその観音像が置かれていましたが、しばらくその観音像の行方が分かりませんでした。志賀直哉は昭和13年に、その前年に有名な『暗夜行路』を書き上げてから、奈良を引き払って一家全員が東京へ移りました。当然観音像も持っていったのですが、開戦後間もない頃は、文豪

とはいえ、かなり生活も厳しかったらしく、その観音像を売ってしまったというところまでは分かっているのですが、その観音像が流転しているどこにあるのかを、その柳瀬さんが懸命に探すわけです。柳瀬さんは本業は生物の先生で、自分のご趣味で地域のことを発掘されています。私はこのような我が町のことに熱くなる人を取材するのが面白くて、先ほど木造の駅舎が素晴らしいということを上げましたが、ただ古いだけのものがないのではなく、その奥に潜んでいる物語を発掘して地域資源の目利きをする人と、その物語を上手く仕立てて語る語り部と、この2人の両輪があって地域資源というものは本当に育っていくのだと思い、まさに血眼になって観音像の行方を捜すような人が奈良市民にいるということが、私にはとても面白く感じられて本にとり上げました。その観音像はどこに行ったかというところ、ある美術愛好家の手に渡ってから、美術館に行って、また流転して、いまは奈良ゆかりの会津八一の記念館が早稲田大学にあり、そこに保管されていることが分かりました。昨年の秋に新聞に出たのですが、私もそういうときは記者根性が出てしまい、特ダネだと思って本に観音像の行方を書いて、新聞の方が一足早く出てしまいましたが、本の中では一番最初に刊行出来たことは本当に嬉しく思いました。このような奈良の町が宿しているいろいろな物語を発掘して、本を出すことができました。

今日のタイトルが世界遺産都市の路地裏に息づく地域資源ということですが、私がこれまで力を入れてきたものに近代の建物があり、世界遺産都市の名脇役ではないかと思えます。私たちの町は、もちろん古代の建物、遺跡、遺構を最優先して守る使命があります。しかし世界の中で光る奈良というものを作っていくためには、路地裏にある近代の建物をもっと大事にしていくことが奈良の町の風格を作っていくことになると思います。私の中でとり上げた近代遺産は、昭和4年建てられた志賀直哉邸、奈良国立博物館にある仏教美術センター、JR奈良駅舎、「きたまち」の奈良女子大学の前にある明治時代の鍋屋交番の4つですが、共通するのは何れの建物も全て取り壊される計画があったことです。JR奈良も連続立体交差で新しい架線を引くときに建物はいらぬということになりました。志賀直哉邸も、志賀直哉が去った後は関信太郎という実業家を買収し、戦後は米軍が接収し、その後は国の厚生年金の施設になりますが、それを管理している県も建て替えるからいらぬということになりました。仏教美術センターは明治時代の建物で、奈良文化財研究所が入っていたときは旧奈良県物産陳列所と称していましたが、これも取り壊しの計画があり、鍋屋交番もそうでしたが、その価値に気付いて残そうということで、市民が残した建物なのです。署名を集めたりシンポジウムを開いたり、志賀邸だけでも3万人くらいの署名が集まったと聞いておりますし、建築家の方が本当に熱心にシンポジウムを開いたりしました。いま奈良国立博物館の建物になっている仏教美術センターは80年代に取り壊される計画があり、法蓮町に住んでいる建築家がどうしてもこの建物は残したいということで、水門町に住んでいる入江泰吉さんのところに相談に行き、入江さんは心良く保存運動の世話人になられたりされまして、入江さんの話したであろう談話を再現しながら本の中で紹介することができました。JRの奈良駅舎は建物的には昭和10年頃の建物でどこがいいのかと言われたりします。しかしあの建物の価値を発掘した建築家の人に言わせれば、昭和10年というのは大阪でいろんな近代ビルディングが立ち並んでいる頃でしたので、構造物としては近代のものを建てたいけど、奈良というのはギリシャと同じだということで、二つの命題で非常に設計者は苦勞したということです。近代的な駅舎を作らなければならぬけど、奈良の駅前であるということで、屋根だけ五重の塔をイメージした塔の形をしています。構造は洋風です。人によっては、何かちょんまげの武士が洋風の靴をはいているみたいだと言うのですが、本当に語り部たる建築家によればあれは二つの命題で奈良にしか生まれない建物だとお話されていました。一番イメージに近いのは橿原の奈良県立畝傍高校の講堂で、近代和風で屋根だけが五重の塔のイメージで建物は学校の本当に近代教育のために造られた頑丈な鉄筋鉄骨の建物ですが、このたび国の登録有形文化財になり、まさに町の近代遺産が生き残ったなという感慨を持っております。奈良女子大学の前にある鍋屋交番も奈良県警が壊しますということになったのですが、「きたまち」の人たちが何とかして残したいといい、あの小さくて可愛らしい建物は明治の建物で意匠が奈良女子大学の建築と似ているところがあり、記念館は重要文化財ですが、その建物と一体で何か非常に意識した高い理想をもった建物ではないかと発掘する人がいるんです。そして住民が集会を開いたりした結果、奈良市の建物として残ることになりました。

私は建築の専門家ではありませんので、どこの意匠が素晴らしいとか、それも大事なんでしょうが、むしろ、その価値に気付いて残そうとしている奈良市民を取材するのが本当に楽しく感じております。特に私は神奈川県出身で、自分の家は湘南海岸の真ん中にある平塚で空襲がありましたから、町家というのも奈良に来るまで見たことがありませんでしたので、私には外部の目というのがあります。奈良に来て、本当にいろいろ驚きながら、また喜びを感じながら書くことができました。冒頭に私は本当は地方自治のことを研究したり書いたりしていることを申しましたが、今では外部の目というのが本当に大事になっており、奈良市でも包括外部監査ということが法定の義務になり、議会だけでなく、年1~2回は外部の監査を受けています。そういう意味では町づくりも一緒に、よくよそ者の目が大事だといわれます。誰が言ったのかは分かりませんが、町起こしの成功は、「よそ者」と「ばか者」と「若者」にかかっているという人がいます。そういう意味で、私自身はちょうど奈良と郷里にいるのが半々くらいの年になりましたが、自分には外部の目というのがありますので、これからますます奈良の地域資源を発掘していきたいです。特に私自身は、奈良の人があまり関心はない中で、奈良盆地にあるため池が非常に美しく面白く感じておりずいぶん調べてきました。これからも観光都市の奈良がますます輝いていきますように、路地裏にある近代建物やいろんな話を発掘していきたいと思えます。

ご清聴有難うございました。



**\*\*ロータリー財団認証表彰\*\***

★☒\$4,000以上達成 (Multiple3・三粒サファイア)  
・ 楠木重樹 君



**5月お誕生日・結婚記念日**

★☒お誕生日★

9日 北河原公敬 君      31日 成田 積 君

★結婚記念日★

3日 増井 義久 君      3日 柴田 直三 君  
3日 濱田 英資 君      11日 高木 伸夫 君  
13日 石野 捨雄 君      13日 高辻 良成 君  
18日 佐川 肇 君      21日 大塩 栄作 君  
30日 谷川千代則 君

**NOMC第170回 古光山 (952.7m)**

(日 時) 平成24年 5月13日 (日)

(参加者) 麴谷・飯田・小池・福村・木村・向井・植倉

(行程)

7:20 近鉄 新大宮駅前 発  
          マイクロバス  
8:50 曾爾村 大峠 着  
9:00 曾爾村 大峠 発 (登山開始)  
  
10:10 南峰 通過  
  
10:30 古光山山頂 着  
10:40 古光山山頂 発  
  
11:30 後古光山山頂 通過  
  
12:20 長尾峠 着 (下山終了)  
12:30 曾爾高原ファームガーデン 着  
          <昼食>  
13:30 曾爾高原ファームガーデン 発  
          マイクロバス  
15:00 近鉄 新大宮駅前 着 (解散)



**井上正行 君** 北神副会長先週はお世話をかけました。太宰府ロータリークラブは当クラブとにたようなクラブだと思いました。素晴らしいクラブでした。

**増井義久 君** 浅野先生 本日は卓話ありがとうございます。

**清岡正教 君** 本日 卓話の 講師に 浅野さんをお迎えして

**多田 廣 君** 本日 新入会員に対するインフォメーションを行います。応援して下さい。濱田さん 2時間ご辛抱下さい。御苦労様です。

**楠原忠夫 君** 5/20(日)次年度委員長会議出席して頂いた方、ありがとうございました。また、野崎さん お世話になりました。

**橋本和典 君** 楠原年度委員長会議 何とか無事に終える事ができました。翌日の金環日食も何とか無事に見る事ができました。楠原年度も何とか無事に行く事ができますように！！是非皆さんのパワーを！！”ファイト イッパアーツ”

**野崎隆男 君** 先日の、次年度委員長会議では、楠原さんはじめ次年度理事役員の方々に大変お世話になりました。

**武藤廣茂 君** 先日の次年度委員長会議に遅刻致しました。本当に申し訳ありませんでした。大変反省しております。

**藤井正勝 君** 楠原エレクト お世話になりありがとうございました。また、第1班情報集会に集まっていただきました皆様、ご協力ありがとうございました。

**矢追家麻呂君** 昨日の情報集会、藤井さんお世話になりました。

**石野捨雄 君** 結婚記念日に良い物を頂きましたありがとうございます。

**佐川 肇 君** 結婚記念日のお祝い 有り難うございます。

**柴田直三 君** 結婚記念日のお祝い ありがとうございます。

**濱田英資 君** 会から素晴らしい物を頂戴し、ありがとうございます。新入会ではございますが、奈良大宮ロータリー発展のため、汗をかく所存です。今後ともご指導のほど宜しく願いいたします。

**高辻良成 君** 結婚記念のお祝いありがとうございます。

**谷川千代則君** 委員長会議 遅れて申し訳ございませんでした。結婚記念日お祝いありがとうございます。

**北神徳明 君** 天空ドラマ金環日食感動しました。

**植村将史 君** 本日藤野さんのお見舞に行ってきました。うらやましいぐらいスリムになっておられました。とても元気になっておられました。

**西口栄一 君** ニコニコ協力

**中嶋 大 君** ニコニコ協力

**森山斗福 君** ニコニコ協力

## 例会変更

6 月

### ■生駒ロータリークラブ ■

・6月 6日(水)・・・創立36周年記念例会の為、変更。

時間：17:00～ 場所：奈良ロイヤルホテル (TEL:0742-34-1131)

※ビジター受付は行いません。

・6月27日(水)・・・例会場所変更 場所：「あやめ館」(TEL:0742-45-0185)

※ビジター受付は、通常の例会受付を現地にて行います。(ビジターフィ4,000円)

### 本日のお客様

ダンガル、イシュワリさん(米山奨学生)

### 次週の例会

平成24年6月5日(火)

(株)ビッグエル・グループ 代表取締役 菅原 淳輔 様(福井北ロータリークラブ)  
「奈良大宮RCの知名度アップについて」